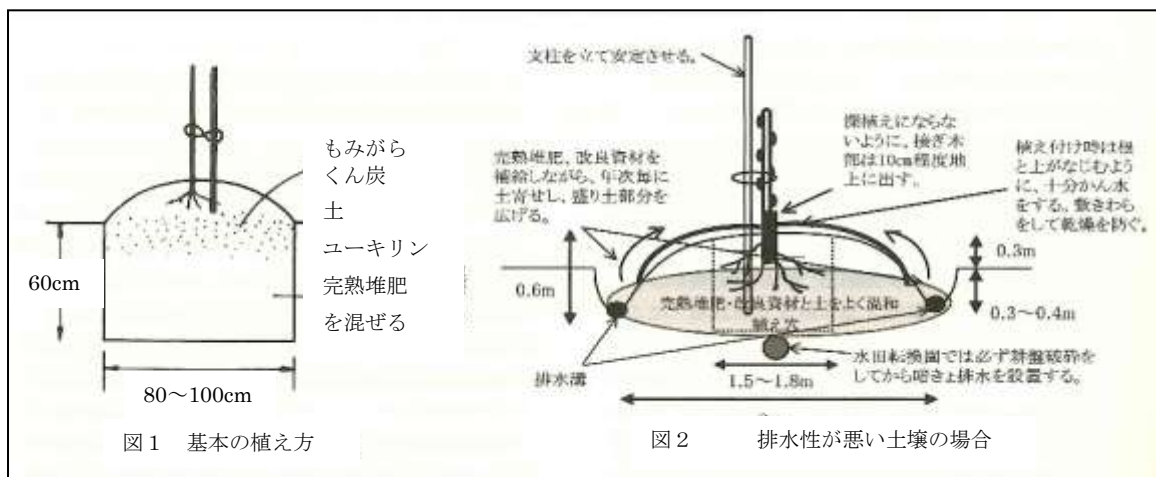


苗木の管理方法

【植え付けについて】

- ① 植え穴は苗木の根の2倍の大きさで、直径80～100cm、深さ50cm位掘り、土とユーキリン(1kg)、もみがらくん炭(適量)、エアープイント(完熟堆肥)を混ぜて埋め戻し、定植に備える。
* ユーキリン(20kg : 3,826円)、もみがらくん炭(30ℓ : 496円)、エアープイント(18kg : 529円)は、営農センターにて取り扱っております。
* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する
- ② 配達された苗木は乾燥気味のため、12時間(1晩)程度、根部を水に浸して十分に吸水させてから定植する。すぐに定植できない場合は、吸水させてから仮植しておく。
- ③ 植え付け時は、根を放射状に広げ、各々の根に細土が密着するように丁寧に土をかける。太根の先端を剪定ばさみで切っておくと、発根が良くなる。
土をかけたら、苗木を軽く持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけて、たっぷり灌水を行なう。
- ④ 植え付けの深さは、接ぎ木部位が地面からわずかに出る程度とする。
- ⑤ 苗木は支柱を添えて固定し、揺れを防ぐ。
- ⑥ 苗木の剪定(切り戻し)は、春季(3月下旬～4月上旬)に行ない、地上部30～50cmの高さで充実した芽の上で切り戻す。



秋植えの場合

越冬対策は必ず実施しましょう

- ・ 秋植えを行なうと、土壌と根の活着が良く春季の生育が良好となるが、凍害・雪害等のリスクもあるため、春植えの方が安全である。
- ・ 秋植えを行なう場合は、定植後は必ずわら巻き(厚さ5cm以上)を実施し、防寒に努める。

春植えの場合

- ◆ 春植えの場合は、伏せ込みを行なう。
- ・ 束ねてある苗木は必ずバラして、根部を土中の凍結部以下になるようにして伏せ、苗木の下部70cm位を土中に埋める。
- ・ 乾燥防止のため、細根部分は隙間がないよう丁寧に土をかぶせる。
- ・ 春植えの場合は特に土壌が乾燥しやすいので、雪が消えたら土壌が乾燥しないよう、植え穴に水をたっぷり入れて植え付ける。(3月下旬～4月上旬に定植する。)